

# 新過疎対策法制定を

## 新温泉町長ら実情訴え

### 自民特委 メンバー 小代区神場を視察



林本区長(中央)から過疎地の実情を聞く自民党国会議員ら。26日、香美町小代区神場。

自民党過疎対策特別委員会(山口俊一委員長)と兵庫県、京都府、河内県の過疎市町長との意見交換会が二十六日、養父市八鹿町国木の県立但馬長寿の郷で開かれた。出席した市町長らは地域の実情を説明し、道路整備や財政支援など過疎対策の支援充実を訴えた。

特別委は、二〇一〇を視察し、林本嘉直区長や藤原久嗣町長の説明を受けた。意見交換会では、兵庫県は県内四十一市町のうち但馬三市二町を含む六市三町が過疎地域を有し、過疎地域の人口は全県の3・2%だが、面積は26・1%を占めていることが報告された。

参加した議員は、委員長の山口代議士のほか、地元選出の谷公一代議士、羽田祥肇参院議員ら四人。意見交換会に先立ち、高齢化率68・6%と過疎に悩む香美町小代区神場地区

え、新温泉町の馬場雅人町長は「ぜひとも新過疎対策法を制定してほしい」と求めた。

山口委員長は「さまざまな意見を踏まえ、新法の制定に向け進めたい」と応えた。

日本海新聞

5/27

# 国会議員ら過疎地視察

## 住民、除雪遅れなど訴え

香美・神場

過疎地域自立促進特別措置法が2年後に期限切れを迎えるのを受け、衆参両院議員が26日、新しい過疎対策の法制度の検討を進めるため、香美町小代区の神場地区を視察した。



山口俊一・自民党過疎対策特別委員長（右）に地区の現状を説明する林本嘉直区長（中央）＝香美町小代区神場で

神場地区は22世帯51人、高齢化率は68・6％に達する。午前11時ごろ、自民党政務調査会で過疎対策特別委員長を務める山口俊一衆院議員ら5人が地区を訪問。区長の林本嘉直さん(67)ら地域住民が、集落が土木事務所や地域局と離れているため、県・町道の除雪が遅れがちなことや、農作物への猿

## 「新過疎対策法制定を」

### 意見交換会 市町首長らが要望

養父

一方、養父市の「但馬長寿の郷」では意見交換会があり、県内からは但馬の3市2町を含む9市町の首長らが出席。財政状況の悪化や限界集落の増加などを挙げながら、財政支援を中心にした新過疎対策法の制定を求める声が相次いだ。あいつつの中で齋藤富雄副知事は「日本の成長を支えてきた過疎地は瀕死の状態。日本を活性化させ、過疎地を守る新法を」と要望。養父市の梅谷馨市長も「八鹿病院や八鹿中学

校などは過疎債で建てられた」と過疎地への配慮を求めた。また、新温泉町の馬場雅人町長は、健康、観光、環境、教育と金を5Kとし、「新法は金の問題が一番大切」と述べた。山口委員長は「地方は大変な状況

にある。さまざま意見と現状を踏まえ、新たな過疎法制定に向け、しっかりと取り組んでいきたい」と答えた。  
【吉川昭夫、植田憲尚】

# 自民党委と首長

## 過疎新法で懇談

自民党過疎対策特別委員会（委員長・山口俊一衆院議員）と、県内過疎地域の市町長らとの意見交換会が26日、養父市八雲町国木、県但馬長妻の郷で開かれた。

過疎地域への優遇措置を定めた過疎地域自立促進特別措置法が、2010年3月末で失効するため、新しい過疎法を検討するため、同特別委員会各地で開催している。

意見交換会には、県内と京都市から計16自治体の市町長らが参加。新温泉町の農藝雅人町長は「海、山、温泉の三拍子がそろっているが、うまく収束をいかさされていらない。自然にある程度手を加えないと本物にはならない」などと強調。

また、養父市の門康彦市長は「お年寄りら交通弱者の足の確保や小学校と保育所の統合を進めるため、財政支援制度を整備してほしい」などと述べた。

読 者 新 聞 5/27

## 新過疎対策法制定を 新温泉町長ら実情訴え

自民党過疎対策特別委員会(山口俊一委員長)と兵庫県、京都府、両府県の過疎市町長との意見交換会が二十六日、兵庫県養父市八鹿町国木の県立但馬長寿の郷で開かれた。出席した市町長らは地域の実情を説明し、道路整備や財政支援など過疎対策の支援充実を訴えた。



林本区長(中央)から過疎地の実情を聞く自民党国会議員ら=26日、香美町小代区神場

参加した議員は、委員長の山口代議士のほか、地元選出の谷公一代議士、鴻池祥肇参院議員ら四人。意見交換会に先立ち、高齢化率68・6%と過疎に悩む香美町小代区神場地区を視察し、林本嘉宣区長や藤原久嗣町長の説明を受けた。

特別委は、二〇一〇年三月に期限切れとなる「過疎地域自立促進特別措置法」に代わる新しい過疎対策法を検討しており、その一環として但馬地方を訪れた。

参加した議員は、委員長の山口代議士のほか、地元選出の谷公一代議士、鴻池祥肇参院議員

意見交換会では、兵庫県は県内四十一市町のうち但馬三市二町を含む六市三町が過疎地域を有し、過疎地域の人口は全県の3・2%だが、面積は26・1%を占めていることなどが報告された。

また、過疎地域を有する自治体の首長が意見陳述。地域の実態に応じた支援などを訴え、新温泉町の馬場雅人町長は「ぜひとも新過疎対策法を制定してほしい」と求めた。

山口委員長は「さまざまな意見を踏まえ、新法の制定に向け準備を進めたい」と応えた。

# 国会議員ら過疎地視察

## 住民、除雪遅れなど訴え

香美・神場

過疎地域自立促進特別措置法が2年後に期限切れを迎えるのを受け、衆参両院議員が26

日、新しい過疎対策の法制度の検討を進めるため、香美町小代区的神場地区を視察した。

神場地区は22世帯51人、高齢化率は68・6%に達する。

午前11時ごろ、自民党政務調査会で過疎対策特別委員長を務める山口俊一衆院議員ら5

人が地区を訪問。区長の林本嘉宣さん(67)の地域住民が、集落が土木事務所や地域局と離れているため、県・町道の除雪が遅れがちなことや、農作物への損

の被害などの現状を訴えた。山口委員長は「こう

いう集落に共通していることだが、生活インフラがずたずたになっている。生活支援をいかにするかは課題だ」と話した。林本さんは「地区の盆踊りも10年以上前になくなった」と草ばかり生えた田を見つめた。

山口昭夫植田憲尚



山口俊一・自民党過疎対策特別委員長(右)に地区の現状を説明する林本嘉宣区長(中央)。香美町小代区神場で

## 「新過疎対策法制定を」

意見交換会 市町首長らが要望

養父

一方、養父市の「但馬長寿の郷」では意見交換会があり、県内からは但馬の3市2町を含む9市町の首長らが出席。財政状況の悪化や限界集落の増加などを挙げながら、財政支援を中心とした新過疎対策法の

制定を求める声が相次いだ。あいさつの中で齋藤富雄副知事は「日本の成長を支えてきた過疎地は瀕死の状況。日本を活性化させ、過疎地を守る新法を」と要望。養父市の梅谷馨市長も「八鹿病院や八鹿中学

校などは過疎債で建てられた」と過疎地への配慮を求めた。また、新温泉町の馬場雅人町長は「健康、観光、環境、教育と金を5Kとし、「新法は金の問題が一番大切」と述べた。山口委員長は「地方は大変な状況

20.5.27 毎日新聞(但馬版)

## 自民党委と首長 過疎新法で懇談

自民党過疎対策特別委員

会(委員長・山口俊一衆院議員)と、県内過疎地域の市町長らとの意見交換会が26日、養父市八鹿町国木、県但馬長寿の郷で開かれた。

過疎地域への優遇措置を定めた過疎地域自立促進特別措置法が、2010年3月末で失効するため、新しい過疎法を検討するため、同特別委が各地で開催している。

意見交換会には、県内と京都府から計16自治体の市町長らが参加。新温泉町の馬場雅人町長は「海、山、温泉の三拍子がそろっているが、うまく良さをいかしきれていない。自然にある程度手を加えないと本物にはならない」と強調。また、淡路市の門康彦市長は「お年寄りら交通弱者の足の確保や小学校と保育所の統合を進めるため、財政支援制度を整備してほしい」と述べた。

20.5.27 読売新聞(但馬版)

# 新過疎対策法制定を

## 新温泉町長ら実情訴え

自民特委  
メンバー 小代区神場を視察



林本区長（中央）から過疎地の実情を聞く自民党  
国会議員ら。26日、香美町小代区神場

自民党過疎対策特別委員会（山口俊一委員長）と兵庫、京都府、両府県の過疎市町長との意見交換会が二十六日、養父市八鹿町国木の県立但馬長寿の郷で開かれた。出席した市町長らは地域の実情を説明し、道路整備や財政支援など過疎対策の支援充実を訴えた。

特別委は、二〇一〇を視察し、林本嘉宣区長や藤原久嗣町長の説明を受けた。意見交換会では、兵庫県は県内四十一市町のうち但馬三市二町を含む六市三町が過疎地域を有し、過疎地域の人口は全県の三・二％だが、面積は二六・一％を占めていることなどが報告された。

参加した議員は、委員長山口代議士のほか、地元選出の谷公一代議士、鴻池祥肇参院議員ら四人。意見交換会に先立ち、高齢化率六八・六％と過疎に悩む香美町小代区神場地区

え、新温泉町の馬場雅人町長は「ぜひとも新過疎対策法を制定してほしい」と求めた。山口委員長は「ごまかな意見を踏まえ、新法の制定に向け準備を進めたい」と応えた。

20. 5. 27 日本海新聞 (但馬版)